

# ～第33回 ファミリー参拝開催～ キッズサンガでお寺に集う!



今年は家族みんなで団扇<sup>うちわ</sup>づくりに挑戦しました (28.7.9)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会(であ)いの時間

## 小僧の目

▼このところ気になることがあります▼「故人の遺志で葬儀をしない。」とか、「永眠しました。謹んでご通知申し上げます。」と言う新聞広告が目立ちます▼業者のほうも相乗りする形で、「火葬のみのセツトも用意しました。」とか、「家族葬〇〇コース」などを呼び掛ける具合です▼葬儀は亡くなった人のための儀式と想っている人は、「とりあえず葬儀の時だけお寺さんをお願いして、葬儀が済めば後は用がない。」と考えている人が都会だけでなく多くなっている傾向だと言います▼仏教のお葬式は単なる形のみの儀礼・その場限りのものではありません▼葬儀で見送った人は、亡くなって、おしまいではありません。葬儀で送った大切な人は、亡くなったらそれでおしまいでしょうか▼確かに「人間」としての生は終わりです。しかし、故人は、今、心の世界である浄土、仏の世界、悟りの世界へ往生(往生)まれ、尊い仏様とられたのです▼その仏様が何を願われているかを、聞かせていただくことが大事です▼お墓はご遺骨を納める大切な聖地ですが、人間の命とその働きは阿弥陀如来様まします弥陀の浄土、極楽浄土、西方浄土に往生するのです。決してお墓に往生するわけではありません▼悲しみを縁として、「いただきたいのち・いただいているいのち」に感謝して、命ある限り、この人生を強く明るく生きていくことが大切だと思えます▼故人の遺影や位牌に手を合わせるだけでなく、阿弥陀様に手を合わせ、自分が仏法に心を合わせたいものです▼死は単なる、暗い死、不幸な死ではなく、悲しみの中にも尊い死です。亡くなってしまえば、それでおしまいな死ではなく、尊い仏様となって、あなたを心配し、み護り、導く存在となるのです。

釋 玄真

### ご寺院行事

- 11月13日(日) 報恩講法要 前10:00  
講師 宮崎幸枝先生 (茨城県)  
講題 「お浄土があつてよかったね」
- 1月 1日(日) 元旦会 (修正会) 前 7:00
- 1月16日(月) ご正当法要 (新年初まいる) 前10:00

### ご定例法話内

- 11月20日(日) 講師 佐々木教幸先生 (福井県)
- 12月20日(火) 講師 高柳慶哉先生 (福井県)
- 1月20日(金) 講師 長原真了先生 (長野市)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

ファミリー参拝のようす



讃仏偈でおつとめ



自分だけの団扇作りました！



恒例の流しソーマン



献灯献花する代表の子どもたち

第三十七回目早朝連続参拝に  
延べ五百七十五人参加 (皆勤三十九人)

第三十七回目の早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、延べ五百七十五人が参加。今年も皆さん熱心にお勤めされました。

ゲリラ豪雨で岡谷駅前が川のようになるなど(一日夕方)で、涼しい朝が多かった中で連続参拝が始まりました。

今年も、若院による「浄土真宗のキーワード」をテーマにした講話を聴聞させていただきました。

若院は「浄土真宗は仏様の真実の教えを説く教義」であることのお話から始まり「誓願」、「本願」、「信心」などのキーワードを元に七日間にわたって、分かりやすく丁寧にお話しされました。

初日の住職挨拶では、三十七年前にこの連続参拝を始めた時の思いや、京都女子大学創始者の甲斐和里子先生の詠まれた歌を紹介しながら、ご縁に遇わせていただくひと時の連続が一生になる、などのお話しをされました。

また、七日目の日曜日には、長野市西教寺住職の木賈慈教先生から「お念仏の救い」と題した法話を聴聞させていただきました。

感話発表では、七人の方々から貴重な体験談等お聞きすることができ、皆さん感銘を受けました。

今回の特色は、「敬念寺体操」を取り入れたことです。住職の発想を基に、鷹野原教化委員長が創作した体操を最後に行い、心身を和ませました。現在、日曜礼拝や定例法話会でも行うなど、お寺の新しい取り組みとして定着しています。

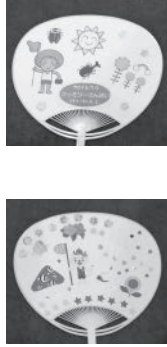


日曜日に撮影した記念写真 (28.8.7)

ーうれしいお便り紹介ー

今年のおファミリー参拝に家族で参加された岡谷市の中田久雄様から葉書で「お便りが届きましたので紹介いたします。」

初めて参加させて頂いた先日のファミリー参拝、ありがとうございます。孫らも大変喜びました。時間を過ごさせてもらいました。かな付のお経も七歳の孫が最後まで唱えきつたのには、ちよっぴり感動でした。子供らにも良い機会だったと思います。ご活躍もお祈りしています。



ー短信ー

前任職の二十七回忌法要

金松直躬・前任職二十七回忌法要が去る八月二十六日、二十六回忌の祥月命日に当たり、近親者十七名の出席の下に営まれました。

松本組連続研修会始まる!

松本組連続研修会第十期が九月十日から始まりました。

敬念寺からは、千原みち子さん、望月富子さん、松崎もと子さん、前田悦子さんの四名が受講しています。次期開講にむけ、参加ご希望の方はお寺までお問い合わせください。

本山伝灯奉告法要始まる!

第二十五代専如門主伝灯奉告法要が、十月一日から、来年五月三十一日までの間、十期八十日間の日程で始まりました。敬念寺でも来年四月団体参拝をいたします。

しょう しき  
**青** **色**  
しょう こう  
**青** **光**  
六十五回

夫婦二人で穏やかに暮らす  
小島 眞 さん  
岡谷市山手町



取材でお訪ねすると、玄関の外で出迎えて下さいました。また、とても明るい奥様が一緒で、お話をお聞きすることができました。  
小島さんとお寺とのご縁は、高校の同級生であった三水村敬念寺ご住職、故正也様からのお薦めで境内墓地を求めたことでした。実家は禅宗であり悩みましたが、ご縁に感じ浄土真宗にお世話になりました。  
小島さんは高校卒業後東京で五

年程会社勤めをしましたが、長男という事で岡谷に帰りました。岡谷での仕事を考えた時、帰郷の列車の中で耳にした会話をヒントに豆腐屋を始めようと決めたそうです。しかし、同業の方々との販路の関係もあり苦しい船出でした。幸い、取引先が学校や会社であったり、親族の理解もあつたりして四十八年間営業を続けてきましたが、奥様が体調を崩されたのを機に十一年前に店を閉じました。

長年同居して暮らしたご両親や叔母様との様々な思い出話や、一人娘は結婚して東京に在住しており、今は夫婦二人だけの暮らし、などのお話をされました。

過ぎた日々には、難しく苦しい思い出もありましたが、今はすべてに幸せを感じ、感謝の気持ちを持ってにこやかにお話しされるお二人の姿がとても印象的でした。

また、二人がお互いを信じ合うご様子を拝見でき、幸せな気持ちをお裾分けしていただきました。

小島さんは、戦争で殺し合う人間の「さが」を嘆き、只、弥陀の本願を信じ「南無阿弥陀仏」とお念仏を称えて生きてゆきたいとおっしゃいます。部屋の間には歎異抄の本数冊が置かれており、浄土真宗のみ教えに囲まれる中で日暮らしされているのを感じながら、お宅を後にしました。  
(滝川 記)

### 「永代経懇志による」 第三期本堂内陣荘厳事業実施!

☆平成十九年の本堂耐震工事後、内陣の床「黒漆塗り蟬色仕上げ」を中心に第一期事業を実施。

☆第二期事業として、金彩色の欄間、巻障子など、前卓・登高座と共に荘厳が一段と整ってきました。

★このたび第二期事業として、

- ①内陣漆塗床補修と全面磨き上げ
  - ②中尊須弥壇総磨き
  - ③中尊前高欄完全修復
  - ④ご開山前高欄完全修復
  - ⑤中尊前金灯籠完全修復
- を、十一月報恩講前までに実施いたします。
- 費用は、今まで上納いただいている「永代経懇志」を充当させていただきま



### 「敬念寺中・長期ビジョンによる」 寺院保守・営繕を検討しています!

敬念寺だよりで経過をお知らせしていますが、去る四月二十三日開催の門信徒年次総会で承認された「会館・庫裏の保守営繕の施行」(前号二ページ参照)について、来春実施

☆「永代経懇志」については、敬念寺だよりで再三解説・説明しております(百十二・百十一・百九・九十号ほか)が、語源は永代お寺が存続し、お経の聲が絶えないようにお寺に特別に寄進・上納する、特別な懇志です。

故人の遺志や、後継者がいない場合、家は消えるが永代性のあるお寺にその命を託す意味で、財産の一部を寄進するものです。

なお、お寄せいただいた浄財(永代経懇志)にも限りがあります。今後、ご理解と協力の輪が広がれば益々お寺が隆盛・発展することにつながってまいりますので、更なるご理解とご協力をお願いいたします。(釋 玄真)

できるように、常任委員会(主管・財務委員会)で鋭意検討しています。なお、工事は今回統合新設された「護寺基本金会計」から支出されます。

### 歌壇・俳壇コーナー

岡谷市 小林実夫

【結婚五十年を迎えて】

戦友とおもいて  
ながきこの路を  
ともに歩みて  
五十の齢を

【息子と義母の回忌

法要を済ませて】

山里に  
読経のひびきや  
紫陽花忌

敬念寺ホームページ (HP) 閲覧件数

27.12.15~	421	28.6	1,069
28.1	750	28.7	1,004
28.2	690	28.8	991
28.3	719	28.9	1,244
28.4	1,077	~28.10.23	1,347
28.5	1,056	1日平均	(33件)

~多くの方々に読まれています~

## 敬念寺ホームページ (HP) 開設から10か月経過!



昨年十二月十五日に公開された敬念寺のHPです。以後毎月千件前後のアクセスがあり、ローカルなHPとしては多くの方々(門信徒等)に親しまれています。トップページに本堂阿弥陀様の写真を載せて、「住職の虫めがね」コーナーでは折々のメッセージを、トピックスで行事のようすを載せるなど、最新の情報を提供しています。遠隔地の皆様や若い方々など、引き続き多くの皆様に親しまれるHPにしたいと思います。今回、日頃HPをご覧の方から感想を投稿していただきました。

### ホームページを閲覧して

松本市 小池 眞之

昨年十二月からお寺のホームページが開設されたことは、敬念寺だよりやご住職のお話で知ってはいたのですが、多忙に紛れてついついアクセスしないままになっていました。昨年十月母が他界したこともあり、四十九日の法要や新盆等お寺に足を運ぶ機会もあり、なんとなくいつもお寺にお参りに行っているような気になっていました。

母の一周忌を前にして、法要等どうしようかと考え始めると、お寺の行事予定とか、近況など何も分っていないことに気付きました。

←【次ページ三段へ続く】

### 「門信徒投稿ひろば」

#### 父の三十三回忌法要を営んで

岡谷市 坂 剛仁

過日、父の三十三回忌法要を無事済ますことができました。

三十三年前のこと、父は癌の手術後三年も経ちもう再発の心配も無からうと考えていた時です。「癌の再発」が家族に告知されました。その時のショックは、言葉に表せるものではありませんでした。手術は不可能ということで入院治療が行われたのですが、年明け頃から日増しに衰弱し、看病の甲斐もなく六十三歳を迎える前月に亡くなってしまいました。

当時は本人には癌告知はされていませんでしたが、父は衰弱の様子や家族の様子から余命幾ばくも無いこと、生きて帰宅は出来ないだろう等、判っていたように思います。しかし、泣言も言わず、感情を表すこともなく静かな闘病生活を送っていました。

今は米寿を過ぎてなお元気に生活している母を筆頭に、姉の家族と私の家族で十六人も家族になり、夫々幸せに暮らしていることは嬉しく有り難く思いながら、ご住職の読経を聞いておりました。

母が健在の内に三十三回忌の法要を営むことが出来、今生かされていることの喜びと、普通に生きることの幸せを改めて感じる事が出来た法要でした。



#### 祖父のお墓まいり

相模原市 山元百合子

普段私は学校や部活などで忙しく、家が近いにもかかわらず、あまり祖母に会いません。そんな中、久しぶりに祖母に会う機会がありました。それは祖父のお墓まいりに行くためです。

私は、生まれてから祖父の顔を見ることがありません。唯一見たことがあるのは、祖母の家飾りである写真です。すごく優しいそうな人で、一度でもいいから会ってみたかったと思います。

私の祖母は目が悪く一人で歩くのが困難なため、敬念寺のお墓までは祖母の手をとりながら行きました。やつとのことでお墓に着いたとき、祖父がそこで温かく迎えてくれた気がしました。手を合わせてしっかりと挨拶もできて満足です。祖父に会う機会を与えてくれた祖母と母にも感謝しています。

また、住職さんの話も感慨深かったです。とくに、南無阿彌陀仏の話

#### 「前ページ四段から続く」

何回も足を運んだように感じていたのですが、実際は二年間で三回お寺に行っただけでした。

そんな状況の中で、「そうだ、HPを見てみよう」と思い立ち、早速パソコンでアクセスしてみました。「敬念寺」で検索すると、一発でHPにアクセス出来ました。

実は私は、現役時代三十数年間通信会社に勤務していて、コンピュータやインターネットの仕事の本業としてきましたので、HPの良し悪しはある程度分かるつもりです。

開いたお寺のHPはシンプルで大変分かりやすく、どこをクリックすれば知りたい情報があるか一目で分かる大変読みやすいものでした。特に良いなと思ったのは、トップページのほぼ三分の一を占める、お寺の外観や本堂と阿彌陀様の映像です。

私のように松本市に住んでいて、なかなかお寺に足を運べない者にとって、パソコンを立ち上げれば本堂にお参りできる、ということは本当が一番心に残っています。

今年受験で行けません、又来年は祖母の手をとり一緒にお参り出来たらと思っています。



にありがたいことだと思えました。朝夕必ず仏壇にはお参りしていましたが、これからはパソコンを立ち上げた時にはいつでも阿彌陀様にお参りできるということは、とても嬉しいことだと思えます。

その他にも、ほぼ一週間おきに更新される「住職の虫めがね」で住職の考えやトピックス等が分かり、大変面白く読むことができます。お寺の行事予定や近況がすぐ分かり、大変便利なのはもちろんのことです。

HPが出来て、手軽にお寺のことが分かるようになるとお寺に足を運ぶ事が少なくなるのでは、という懸念もあるかもしれません。

私はそんなことはないと思えます。遠く離れて住む子供が、田舎の両親と電話やメールでしょっちゅう連絡しているも、どうしても直接会いたくなくて、お盆やお正月等に必ず帰省するように、HPで本堂に日頃からお参りしていればお寺に足を運んで、阿彌陀様に直接お参りしたいと思う気持ちも強くなると思えます。

最新のテクノロジーを利用して、阿彌陀様がより身近に感じられるようになることは、何よりもありがたいことだと思います。



初めて開催した菊づくり講習会 (28.7.3)



お寺に定着した「敬念寺体操」 (28.8.1)

### 門信徒会費・護寺協力金納入の御礼

今年度の門信徒会費につきましては、皆様にそれぞれご配慮いただきありがとうございます。また、去る四月二十三日の門信徒年次総会で決定した、財務基盤強化のための新しい財務体系の中で新設された、「護寺協力金」については、担当のお世話人様には説明とお願いに大変なご苦労をおかけいたしました。お陰様で大変多くの皆様方のご理解をいただき、尊いお心を賜りました。ご協力下さった門信徒の皆様並びにお力添えいただきました。この浄財は、同じく新設された「護寺基本金」に積み立てて、将来の大規模営繕・大型法要の費用等に備えてまいります。具体的数字等については後日お知らせいたします。

ありがとうございます。

門信徒会会長 千原 博幸  
財務委員長 谷腰 富春

### No.8 シリーズ 住職さんといっしょ！ 樋口くみ子氏のお孫さん！ (左から香芽ちゃん、菜ちゃん、寛介君)



(長男の27回忌法要にて:28.9.3)

### 平成二十八年年度

## 報恩講法要のご案内

— 今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい —

◆日 時 平成二十八年十一月十三日(日) 午前十時より

◆行事日程 (開始十分前には入堂ご着席ください。)

○受付 九時三十分～九時五十分

○報恩講法要 十時～十時四十五分

○コールガンダー・仏教讃歌の発表 十時五十分～十一時

○法 話 十一時～十二時

講師 みやざきホスピタル理事長・副院長(茨城県) 宮崎 幸枝 先生

「お浄土があつてよかつたね」

○おとき(会食) 十二時～十三時

◆報恩講協賛 門信徒作品展・菊花・山野草展示他

### 本山「伝灯奉告法要」団体参拝参加者募集中!

敬念寺の団体参拝は、次の日程で内容検討中です。詳細は固まり次第お知らせしてまいります。今から、お寺までお申込み下さい!

期日:平成29年4月14日(金)～16日(日) 2泊3日

第1日目 午後本山伝灯奉告法要に参拝 (泊) 本山間法会館

第2日目 (泊) 日和山海岸・ホテル金波楼 -兵庫県豊岡市城崎-

\*2～3日目は山陰地方の名所を訪ねます!